

～身体的、経済的に少ない負担で無歯顎高齢者の咀嚼機能を向上させるために～

下顎より難しい！ 上顎インプラント オーバーデンチャーを 少ない埋入本数で 成功に導くためのポイント

～インプラント体の選択、埋入部位、アタッチメント、上部構造の検討～



講師 | **今井 守夫先生**

くみょう今井歯科医院 院長・理事長・歯学博士 モンゴル国立医科大学 客員教授
松本歯科大学 非常勤講師 日本補綴歯科学会 専門医・指導医
日本口腔インプラント学会専門医 ハイオインテグレーション学会 指導医・理事
日本一般臨床医矯正研究会認定医・常任理事 介護支援専門員

10月20日 日

10:00～
15:30

定員 | **30名** | 参加費 | **15,000円**

お弁当付

東京 / 東京八重洲ホール 902会議室 東京駅から徒歩5分

〒103-0027 東京都中央区日本橋3丁目4-13

TEL:03-3201-3631

お申込方法 | 下記のお申込書にご記入の上FAXを送信をお願いします。

受講料は下記銀行口座までお振込ください。
お振込確認をもちまして正式なお申込受付とさせていただきます。

振込口座:みずほ銀行九段支店普通1280457 口座名義:山八歯材工業株式会社

銀行より発行されますお振込の控えをもって山八歯材工業株の領収書とさせていただきます。
キャンセルの場合の受講料返金は致しかねますので、予めご了承ください。

お問い合わせ | 山八歯材工業株式会社 インプラント営業所 TEL 03-3295-3451

インプラントオーバーデンチャーの優位性

一般的なインプラント治療と比べインプラントオーバーデンチャー(IOD)治療は、手術侵襲が少なく、経済的な観点からも患者満足度の高い治療とされています。昨今の超高齢社会を背景とした社会情勢や経済情勢を鑑みると、義歯の機能を向上させることを可能にするIOD治療は咀嚼機能の回復を望む多くの高齢者に対して福音をもたらすと考えます。しかし上顎IOD治療は下顎IOD治療と異なり、その治療指針が明確に示されていない現状、治療にあたっては試行錯誤的な要素が介在することは否めません。

これまで私は、先人達が積み上げてきた義歯製作法をベースに自身の臨床経験を加味した、その吸着性から“すっぽん”のように一度食らいついたら外れない“すっぽんデンチャー”と銘打った適合性に優れた義歯の製作に注力してきました。これに必要最低限のインプラントの埋入と適切なアタッチメントの選択により、経済性に優れ、さらには予後の良いIODの製作が可能と考えました。

本講演では、なぜ上顎IODは難しいのか?に焦点を当て、自身の経験を通じて獲得した実際の診断方法と埋入手技について詳述いたします。また“すっぽんデンチャー”製作の要点、IODに適するインプラント体の選択やアタッチメントの選択についてもお伝えさせていただく予定です。本講演が皆様の明日からの臨床に少しでもお役に立てば嬉しい限りです。

10/20(日)今井守夫先生セミナー 受講申込書

ご記入の上、03-3295-3452までFAXにてご返信ください。

(フリガナ ローマ字)
御名前

DR DT DH

御住所

E-mail

医院名

TEL

FAX